

2025年12月9日

大学院数学専攻長 殿  
大学院数学関連専攻長 殿  
数学関連学科長／コース長 殿

一般社団法人 日本数学会  
『数学通信』編集委員会  
委員長 佐藤 周友

### 修士および博士論文タイトル等の調査方法の変更 およびご協力のお願について

平素より日本数学会の運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本数学会では1997年度以来毎年、本会機関誌『数学通信』に「修士および博士論文」の項目を設け、論文執筆者名と論文タイトルを掲載しております。これは、数学・数理科学分野における若手研究者の研究動向や研究分野の変遷を把握し、あわせて本会会員への情報提供を行うことを目的として実施しているものです。本調査がこれまで継続できましたのは、大学院等関係者の皆様の多大なるご協力の賜物と存じます。ここにあらためて厚く御礼申し上げます。

本会理事会ではこのほど、本調査の意義および実施方法等について精査・検討を行いました。その結果、本調査回答の作成および取りまとめに際し、大学院等関係者の皆様に多大なご負担をおかけしている点も考慮し、今年度より調査方法を変更することを決定いたしました。

本書簡では、調査方法の変更内容についてのみご案内申し上げます。調査の実施につきましては、2026年1月下旬を目途に、あらためて依頼を申し上げます。

つきましては、調査方法の変更内容を下記のとおりお知らせいたします。

	項目	昨年度まで	今年度から
(1)	調査対象	修士および博士論文執筆者名 修士および博士論文タイトル	修士および博士論文執筆者名 修士および博士論文タイトル <u>&lt;変更なし&gt;</u>
(2)	『数学通信』の 掲載対象	修士および博士論文執筆者名 修士および博士論文タイトル	博士論文執筆者名 博士論文タイトル
(3)	調査方法	「報告書兼承諾書」 大学院等において作成、取りまとめ	オンラインフォーム 論文執筆者本人が直接入力回答
(4)	『数学通信』の 掲載許諾の方式	「報告書兼承諾書」 修士および博士論文執筆者本人が 自署	オンラインフォーム 博士論文執筆者本人が許諾項目に チェックを入力
(5)	『数学通信』の 掲載巻号	毎年第1号（5月刊行）	毎年第1号（5月刊行） <u>&lt;変更なし&gt;</u>

(裏面に続く)

調査対象は従前どおり修士および博士論文の執筆者名とタイトルですが、『数学通信』への掲載は博士論文のみが対象となります。修士論文は掲載をいたしません。日本数学会がそれらのデータを収集・把握しておくことは高等教育にとって有益であると考え、データの収集は今後も続けてまいりますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

また、大学院等関係者の皆様には、これまで「報告書兼承諾書」の作成および取りまとめにご協力をいただいておりますが、今回からこの方法を改め、論文執筆者本人がオンラインフォームに執筆者名、タイトル、および『数学通信』への掲載許諾（博士論文のみ）を直接入力する方法といたします。大学院等関係者の皆様には、本会から2026年1月下旬に送付する調査依頼書を調査対象者にご周知いただくことについてご協力をいただきたく、お願いを申し上げます。

今後ともご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<担当>

一般社団法人日本数学会事務局  
修博論文タイトル等調査担当

E-mail : thesis(at)mathsoc.jp

(at)は@に換えてください。